

「家は基礎・柔道は基本」

(株)芳野基礎 代表取締役 よしの 芳野 ゆうたろう 祐太郎



住 所: 加古郡稲美町国岡1丁目21
T E L: 079-490-5332
営業内容: 住宅用基礎工事

ハウスメーカーの住宅の基礎工事を行っている(株)芳野基礎の芳野祐太郎と申します。まず始めに、住宅の基礎工事とは、家づくりの土台となるとても重要な部分です。何事にも基礎が大事と言われるかもしれませんが、家づくりも同じです。数十年という長い年月を暮らす家の、地面と建物のつなぎの部分にあたる基礎を造るための工事は、建物が建ってしまえば見えなくなってしまうますが、基礎は建物のすべてを支える土台であり、その土

台がしっかりしていないと、家が傾いてしまったり、崩れたりします。基礎工事がしっかりしていないと、家は長持ちしません。兵庫県全域で基礎工事をお請け致しております。毎日現場の清掃、美化に心がけ、安全を第一に、施主様が喜んで頂けるよう、全力を尽くして良い基礎を造っています。

そんな基礎工事業との出会いは、亡くなった妹でした。稲美町で妹夫婦が営む基礎工事業を引き継いで、加古川市で事業所を構えていましたが、一昨年に稲美町へ戻ってきました。

私の出身はたつの市(旧新宮町)で、兵庫県知事の井戸敏三さんと従弟にあたり、稲美町にはいつもお世話になっておりますので、この度5000枚のマスクを寄付させて頂きました。

私は中学の時から柔道をしており、柔道を通じていろいろな出会いや経験をしました。

1989年に加古川柔柘会という柔道チームを創設。当初は一般選手を中心に活動し、青年の部では4年連続全国大会に出場しました。2005年に加古川柔柘会の顧問となり、現在会長の畑田氏に指導を任せ、家の基礎造りと同様、柔道も基本を大切に、地域の

子供たちの健全な心の育成を目的とした少年柔道教室として、幼児から中学生の生徒たちを中心に活動しています。生徒たちは日本一を目指して、いつも一生懸命稽古に励んでいます。加古川柔柘会出身の選手の中には、阿部詩選手之母校、夙川高等学校へ進学して、全国高等学校柔道選手権大会で優勝した選手や、大野将平選手の母校、天理大学へ進学して、全日本学生柔道選手権大会で優勝した選手もいます。全日本柔道連盟が指定した強化選手になり、世界の舞台を目指して現在も活躍中です。

また加古川柔柘会は2月に芳野旗争奪柔道大会を主催しております。今年で第11回を迎えました。この大会は小学生の3人制の団体試合で、1・2年の部、3・4年の部、5・6年の部に分かれており、毎年全国からおおよそ50団体の柔道チームが兵庫県に集まり、約600人の子どもたちが優勝旗争奪を目指して試合を行っています。

新型コロナウイルスで自粛が始まり、子供たちの姿も見なくなってしまいました。一日も早く終息して、また道場に子供たちの元気な姿が戻ってこられるように、祈っています。